

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
経済政策	2	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(まつざわ ゆうすけ) 松澤 祐介	UniProve を活用します。			

(英文科目名 Economic Policy)

授業の概要

なぜ政府が存在し、経済政策を行うのか、という政府の役割の基礎的理解から始め、現在の日本経済の抱える電力や交通など公益事業、年金、消費税、財政赤字、「インフレ・ターゲティング」といった金融政策などの課題も視野に入れながら講義を進めます。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしたがった体系的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。初級経済学で学んだように我々の日常生活において経済活動の主体は「民間」が主体で、「市場」を通じて価格や数量が決まるとされます。しかし、必ずしも民間や市場に任せていては、経済的に望ましくない状況も生じてきます。不況、環境問題、高齢者への対策や健康保険の提供、公園等の公共施設の整備など政府が経済活動・経営を行う、もしくは介入する役割があります。一方で政府が介入しすぎたり、税の負担を高めたりすると、経済の活力を失う可能性もあります。諸君は将来サービス産業での活躍を予定していることと思いますが、サービスのプロとして社会に出た際、政府はどの程度経済に介入すべきか、を考える一助となる科目です。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1) 知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	サービス業への政府介入・規制や消費行動と政府の政策の関係をすることでサービス業と政府の関連に関して分析する基礎的な力を身に着ける。
(2) 汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	○	サービス業と政府の関係、法制度等の基礎的な知識から他のサービス業の政府との関連に関する視点を身に着ける。
(3) 態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。		
(4) 総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義で行います。新聞・雑誌記事や映像も用いて具体的事例を交えながら考えていく授業展開にします。

授業期間全体を通じた授業の進め方

1	経済政策とは何か: 政府の経済政策の必要性、経済政策の理論的背景、経済政策を考える視点を概説します。	事前学修: 履修要綱、新聞記事等から講義に関連する内容をつかむ(90分) 事後学修: 配布課題に取り組む(90分)
2	市場機構と外部性: 市場経済の基本原則と政府の介入の正統性を、外部性から説明します。	事前学修: 教科書の第2回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
3	公共財: 政府が提供する公共財についてその理論的背景を説明します。	事前学修: 教科書の第3回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
4	公益事業: 独占になりがちな公益事業の特性と経済政策からの対応を検討します。	事前学修: 教科書の第4回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
5	情報の経済学と経済政策: 完全競争市場が実現しない、「完全情報」ではない場合の経済政策を検討します。	事前学修: 教科書の第5回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
6	経済規制と競争政策: 政府の経済規制の根拠、および、規制改革、競争政策について学びます。	事前学修: 教科書の第6回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
7	再分配政策の概要: 政府による所得再分配の根拠、再分配政策の概要を説明します。	事前学修: 教科書の第7回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
8	年金: 日本の年金制度とその課題を説明します。	事前学修: 教科書の第8回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
9	医療: 日本の公的医療保険、医療費支出と課題を説明します。	事前学修: 教科書の第9回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
10	その他の再分配政策: 生活保護、各種の給付などを説明します。	事前学修: 教科書の第10回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
11	財政と税制: 財政の役割、その財源となる税の仕組みを説明します。	事前学修: 教科書の第11回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
12	財政政策: 財政政策の原理、安定化政策としての財政政策を説明します。	事前学修: 教科書の第12回該当箇所を読む(90分) 事後学修: 授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
13	日本の財政政策の展開: 1990年代以降の財政政策の展開と課題を説明します。	事前学修: 教科書の第13回該当箇所を読む(90分)

		事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
14	金融政策:安定化政策からみた金融政策の役割、理論を説明します。	事前学修:教科書の第14回該当箇所を読む(90分) 事後学修:授業内容の復習に関する配布課題に取り組む(90分)
15	経済政策の課題:近年の日本の経済状況からみた、新たな政策的課題を検討します。	事前学修:教科書の第15回該当箇所を読む(90分) 事後学修:配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む(90分)

成績評価の方法・基準

各授業で課す復習課題(記述式。50%)、試験(記述式。50%)で評価します。

指定教科書

柳川 隆、永合 位行『セオリー&プラクティス 経済政策』有斐閣 2017年

参考文献等

履修上の留意点

特になし。

実務経験